

鳥取発次世代社会モデル創造特区

[指定：平成24年7月、認定：平成25年6月]

正

準

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(2.0 + 2.3) / 2 = 2.2$

2.2

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	商店街の利便性を高めるe-モビリティ交通サービスの実現	15%	1
2	再生可能エネルギーによる災害時集落無停電サービスの実現《定性的評価》	-	-
3	健康情報を高度利用する健康づくりサービスの実現	59%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 0 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 2 = 2.0$

2.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。

(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標3は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

2.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(1.0 + 3.0 + 3.3) / 3 = 2.4$

2.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

・該当なし

専門家による評価の平均値

1.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

2.4

正：平成27年3月末までに計画が認定された地区／準：平成27年3月末時点では計画が認定されていない地区

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

2.0

- ・AICS受診数やプログラム参加者の増加がみられているが、AICS受診は地域の拡大が進んでいない。CATVという新たなチャンネルの追加による健康づくりへの参加効果に期待したい。
- ・カーシェアリングやEV等は目標を大きく下回っているが、これは目標値が高すぎると同時に十分な活動の実績も明確でないことによる。利用者像及び利用機会の再検討と利用者に合わせて周知方法が必要である。
- ・災害時集落無停電サービスは実現の目途が立っておらず、構想段階での問題が指摘されるべきである。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

2.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(2.2+2.4+2.0 \times 2) \div 4 = 2.2$

2.2

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。